

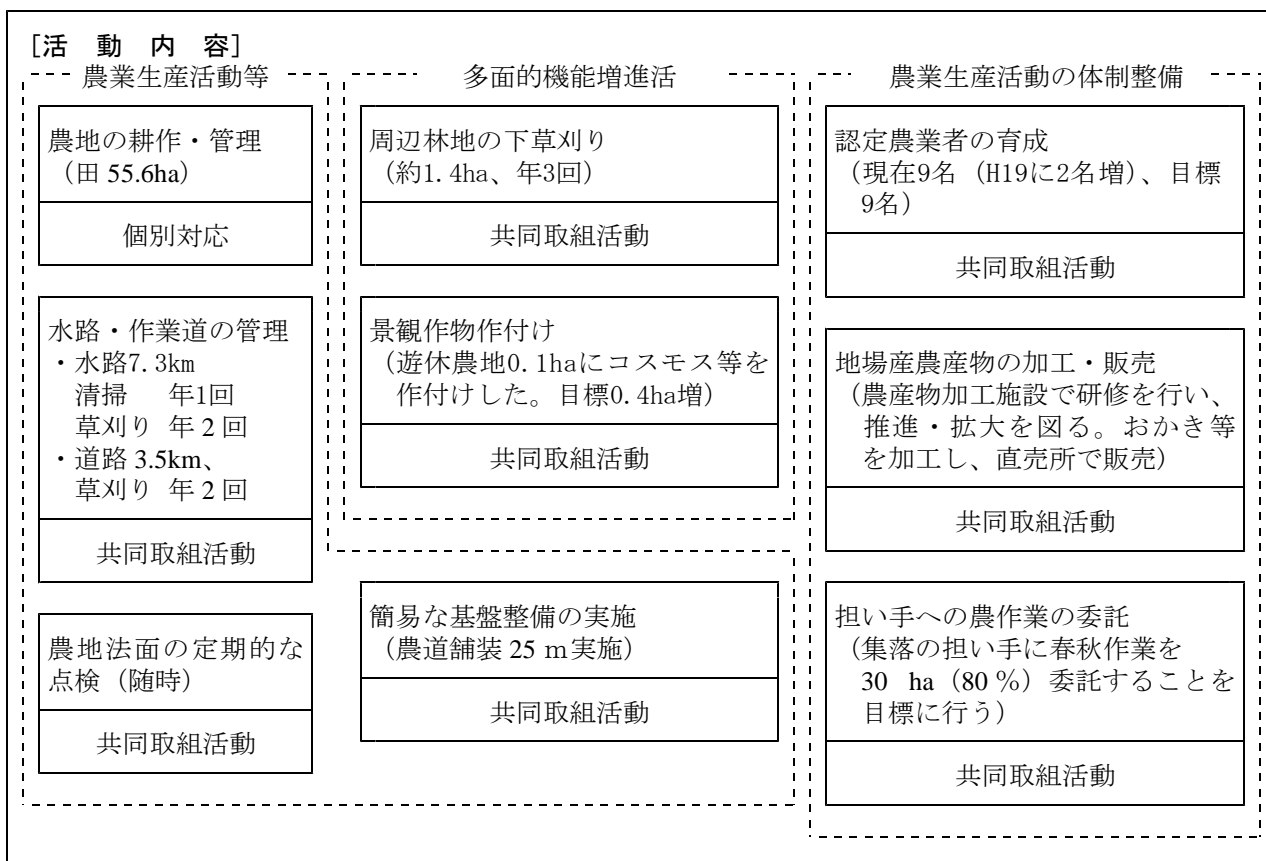
○農産物加工品販売で、新たな収入への意識を醸成

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	秋田県由利本荘市 <small>ゆりほんじょうし</small> 箕子西部第1 <small>じねごせいぶだいいち</small>			
協定面積 55.6ha	田 (100%) 水稲、転作作物	畑	草地	採草放牧地
交付金額 677万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	集落担当者活動経費		5%
		集落マスタープランの将来像を実現するための活動経費		8%
		鳥獣害防止対策、水路農道等維持・管理等共同取組経費		23%
		農用地の維持・管理活動経費		7%
交付金の積立・繰越		7%		
協定参加者	農業者 63人			

2. 集落マスタープランの概要

当集落では、認定農家を中心に機械の共同利用や農作業受託等の推進に向け、営農組織の育成に努めることとした。また、転作田を活用したそば栽培に取り組み、これを用いた加工品の販売を行いながら、地域の振興作物（アスパラガス・やまのいも・花き等）の栽培面積を増やし、そばも加えて団地化を進め、生産性を向上させていくこととしている。平成 19 年度には、加工グループにより地場産農作物の加工品を直売所で販売する計画である。その他の取組として、「天神あやとり」の伝統文化の継承や遊休農地への景観作物の作付けを行うこととしている。



3. 取組の経緯及び内容

当集落協定は、天神・中村・砂口の3集落の農家 63 戸から構成されていて、認定農家が7戸あるものの、後継者のいない農家が 10 戸あり、集落維持機能の低下が懸念されていた。そのため、認定農家を中心に農作業受託を行っていくこととし、農地の活用のため、水稻以外にそば、アスパラガス、やまのいも、花きの作付け面積を増やし、さらに、集落内の伝統行事（由利本荘市指定無形文化財）「天神あやとり」の伝承にも積極的に努めていくこととした。

農産物加工に関しては、集落産の農産物を積極的に活用するために、加工販売グループを立ち上げ、そばやごまなどを使った「おかき」を製造し、旧鳥海町内の農産物直売所で販売した。売れ行きは好調で、集落からは「農産物に付加価値を付けることで新たに収入を得るきっかけとなった」との声が上っており「工夫すれば売れる」という意識の醸成や集落の活性化に繋がっている。

○農用地等保全マップ



水路は、基幹水路の一部以外ほとんどが土水路のため、毎年の計画に基づき整備箇所を記載。

農道の多くは貧弱なため、砂利敷きや急坂についての舗装箇所及び水路や農道の補修路線を明確に判別可能にした。



集落産の農産物を加工



直売所で販売する「おかき」

【平成19年度までの主な効果】

- 認定農業者の育成に向けた取組
 - ・ 現在、候補者1名の研修を実施（当初7名、目標9名、H19実績2名）
- 地場産農産物の加工・販売による地域の活性化
 - ・ 直売所での売上高（30万円（H17）、37万円（H18）、30万円（H19））
 - ・ 加工販売グループの育成のため、研修会を実施
- 認定農業者への農用地利用集積による営農集落の活性化（当初1.7ha、目標4.0ha、H19実績0.6ha）
- 農業機械の共同化による低コスト農業の推進（当初3ha、目標7ha、H19実績7ha）
- 伝統文化「天神あやとり」の継承を通じた後継者の育成及び地域住民との交流の活性化